

矯正のゴールに必要な6つの鍵

近代矯正の父、Angle が亡くなってもうすぐ100年になる。矯正治療もようやく100歳、1世紀という歴史の節目を迎えることになる。Angle が提唱した非抜歯矯正から始まった近代矯正学であるが、この100年の間には様々な変遷があった。あるものは進化した、あるものは衰退し、中にはその姿を消してしまったものもある。

現在の矯正臨床の主流は小臼歯抜歯を含めた Tweed のスタンダードエッジワイズテクニックがベースとなっているのは言うまでもないが、Andrews が Straight Wire Appliance を発表してから様々なプリスクリプション（処方）が組み込まれたブラケットが各社から発売されるようになり、近年ではセルフライゲーションブラケットも見かけられるようになった。

Andrews は正常咬合の6Keysを発表したが、これは歯列にクローズアップされており、言うなればセットアップ作成時の必要条件である。我々が対峙するのは生身の患者さんの咬合であることから、より臨床に即した明確な治療ゴールが必要である。今回、わたしは矯正治療のフィニッシュに必要な6つの鍵を提唱する。これは前述のAndrewsの6Keysに合わせて、動的治療終了時に術者がブラケット撤去を許容する条件の目安となる。これらの6つの鍵（条件）を踏まえた上で、クリアティ™ ウルトラセルフライゲーションブラケットを用いた臨床例を紹介する。



セミナー概要

2022 **9/29** (木) 19:30~20:45 予定
(講演後の質疑応答セッション含む)



演者

岡下 慎太郎 先生

岡下矯正歯科 院長 (奈良県 橿原市)

2001年 大阪歯科大学歯学部卒業 同矯正講座大学院入学
2005年 同大学院修了 歯学博士号取得 (歯科矯正学)
2006年 大阪歯科大学 歯科矯正学講座 非常勤講師
2007年 岡下矯正歯科開院 日本矯正歯科学会認定医取得
2012年 日本舌側矯正歯科学会認定医取得
2017年 慶熙大学歯学部矯正学講座 臨床教授就任
2018年 日本矯正歯科学会臨床指導医 (旧専門医) 取得



視聴可能な
デバイス

PC、スマートフォン、タブレット

視聴後アンケートにお答えいただいた方に、セミナーサマリー資料をお届けできます

申込期日
10月9日(日)
まで

お申し込みはこちら

<https://gjm.pw/3m0929>



ライブ放映、後日の振り返り視聴 (見逃し配信)、どちらも本申込みフォームにてご登録いただけます

3M、ユニテック、クリアティは、3M社の商標です。

スリーエム ジャパン株式会社

3M™ ユニテック™ 矯正歯科用製品

<http://go.3M.com/orthodontics>

Please Recycle. Printed in Japan.
© 3M 2022. All Rights Reserved.
UTK-296-A(0822)e.

当製品部取扱製品のお問い合わせは

製品のお問い合わせはナビダイヤルで

 **0120-296-303**

※受付時間 / 9:00~17:30月~金 (土日祝を除く)